

株式会社ジェイアール西日本ホテル開発（京都府）

街とともに生きるホテルとして、未来のために、今、私たちができること

【株式会社ジェイアール西日本ホテル開発の概要】

- ・設立：1990年10月1日
- ・本社：京都府京都市
- ・事業内容：ホテル業（客室、レストラン、宴会場、結婚式場等の経営、プール等の経営）
- ・店舗：JR西日本ホテルズ
ホテルグランヴィア（京都、大阪、和歌山、岡山、広島）
ホテルヴィスキオ（京都、大阪、尼崎、富山）
奈良ホテル、梅小路ホテル京都



【取組のきっかけ】

- ・「環境にやさしいホテル」を目指し、2004年からホテルグランヴィア京都において、「KES（環境マネジメントシステムスタンダード）」を導入し、2005年4月に認証を取得。以降、継続的に環境改善活動に注力している。
- ・2021年にSDGsのプロジェクトチームを設置。SDGs目標の達成を目指し、食品ロス削減やCO2削減、地域共生等の取組を強化している。



KES KES・環境マネジメントシステム・スタンダード
KES Environmental Management System Standard

「KES」とは **K**yoto：京都
Environmental Management System：環境マネジメントシステム
Standard：スタンダード

京都議定書の発祥地、京都から発信された「**環境マネジメントシステム**」の規格。ISO14001の基本コンセプトと同じ、トップが定める「環境方針」に基づき、PDCAサイクルを循環させることによって継続的な改善を図る。ISO14001の本質的な特徴を生かし、用語や規格の内容をシンプルにしたもの。

【これまでの取組と今後の課題】



- ・2022年4月に施行されたプラスチック資源循環促進法への対応として、客室アメニティやカトラリー類はバイオマス素材、再生プラスチック、C-PLA等の環境配慮素材を使用した製品へ変更しており、従来品と比べると約7割のプラスチック量削減に繋がっている。

・その他、「エコキャップ運動」によるお客様及び従業員が使用したペットボトルキャップの再資源化等にも取り組んでいる。

株式会社ジェイアール西日本ホテル開発（京都府）

【プラスチック容器の削減と再利用】

＜紙パック製のナチュラルウォーターを導入＞

JR西日本ホテルズの3ブランド9ホテルにて、客室等で提供するペットボトル飲料水を、紙パック製のナチュラルウォーターに変更。

紙パック製のナチュラルウォーターを導入することにより、プラスチック廃棄量が削減され、ホテルチェーン全体年間約117トンのCO₂削減が期待される。
（株）ハバリーズによる試算）



（株）ハバリーズ（京都府京都市）が製造する紙パック製ナチュラルウォーター

＜アクリルパーテーションの新たな活用＞



京都・清水焼の香炉を封入

アフターコロナで不要となったアクリルパーテーションを再生利用し、伝統工芸品の端材や傷や欠けがある商品を封入したオブジェを制作。ホテルグランヴィア京都のロビーや宴会場で展示し、伝統工芸品の魅力を発信している。

オブジェは三菱ケミカル株式会社、株式会社瑞穂化成の加工技術を活用し、京都府が設立した伝統産業支援拠点「Kyo-Densan-Biz」の協力のもと、製造することが実現した。

【廃食用油を用いた資源循環の取組】

＜廃食用油を活用したGreen Planet®の循環モデル＞

（株）カネカと共同し、JR西日本ホテルズ内のレストランで使用したサラダ油などの廃食用油を原料に製品化された、カネカ生分解性バイオポリマー「Green Planet®」※製のストローを各ホテルにて導入する取組を2023年4月から開始。今後、ストロー以外にもテイクアウト用カトラリーなど導入する製品を拡げ、さらなる資材循環の実現を目指す。

※カネカ生分解性バイオポリマー「Green Planet®」は、植物油などのバイオマスを原料とし、微生物発酵プロセスによって生産されるポリマー。自然界の海水や土壌に存在する微生物により生分解され、最終的には炭酸ガスと水となることから、二酸化炭素の排出量削減や地球環境保全に貢献する。

廃食用油の資源循環イメージ

